

第1回 合同検討会 (H27.8.21)

メンバー

進行：佐藤 記録：菅野
島倉、森田、吉澤、横山、

テーマ

この街がもっと魅力的な街になるには、何が必要か？

不足している業種

ファストフード店が無い

安くておいしい飲食店がわからない



若い学生や単身生活者の生活の利便性にターゲットを絞った業種が不足している。もっといろいろ欲しい。

学生用カフェ

一人暮らしの学生は、気軽に時間を使えるカフェを欲しがっている。
一人では勉強に集中できないし、食事の準備なども面倒臭い。
友人と一緒に勉強したり、休憩したりできる利用しやすいカフェが欲しい

学生として活躍できる場

世代間交流を促進するための託児所や児童館のような施設に、様々な世代(若い母親、高齢者など)が気軽に入出りできる場所としてあれば、学生たちは自分達の学習した知識や技術を活かした関わり方ができる。

街の交通手段を考える

交通手段を増やす必要がある。
目的の店まで行くのが大変です。
レンタサイクル等の方法も採用できそう

スポーツジムは体育館があるので利用可能だが、住んでいる場所から遠くに位置しており、体育館までの交通手段が無い。

街中での駐車場が無いのが不便だ

道路が新しくなると、人の流れが変わる。
流れが変わると、新たな商売やサービスが活性化するという例が見受けられる。



こうやって話し合いを進めて新しい店や仕組みに取り組むことによって、若者を含めた新たな活性化の例を見つけ出したい。

このような検討会で、もっと多くの地域住民や世代別、性別の要望を把握して、効果的な施策を手順を踏んで実行することが大切となる。

コンセプトを整理し、協力体制を模索し、実行までのスケジュールを整え、資金的な目途を付けた上で可能な限り実現化するべきだ。